

川崎重工業株式会社

広報部【東京】Tel. (03) 3435-2130 【神戸】Tel. (078) 371-9531 www.khi.co.jp

NO. 2012083

2013年1月31日

平成25年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)

川崎重工は、平成25年3月期 第3四半期決算(平成24年4月1日～平成24年12月31日)について、つぎのとおりお知らせします。

連結決算

(単位 億円)

	前第3四半期 連結累計期間 (平成24年3月期 第3四半期)	当第3四半期 連結累計期間 (平成25年3月期 第3四半期)	(参考) 前連結会計年度 (平成24年3月期)
受注高	7,821	8,024	13,118
売上高	9,063	8,858	13,037
営業利益	472	229	574
経常利益	581	314	636
税金等調整前四半期(当期)純利益	571	298	487
四半期(当期)純利益	336	193	233
1株当たり四半期(当期)純利益	20.15 円	11.57 円	13.95 円
総資産	14,044	14,944	13,621
純資産	3,192	3,223	3,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 161	△ 1,042	847
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 514	△ 661	△ 659
フリーキャッシュ・フロー	△ 675	△ 1,703	187
財務活動によるキャッシュ・フロー	612	1,684	△ 268



平成25年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成25年1月31日

上場会社名 川崎重工業株式会社 上場取引所 東大名
 コード番号 7012 (URL <http://www.khi.co.jp/>)
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松原 秀幸 TEL (03) 3435 - 2130
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日 ~ 平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	885,896	△2.2	22,920	△51.5	31,446	△45.8	19,343	△42.5
24年3月期第3四半期	906,314	4.1	47,282	22.0	58,111	28.5	33,679	19.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 15,640百万円 (△ 43.1%) 24年3月期第3四半期 27,531百万円 (37.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	11.57	-
24年3月期第3四半期	20.15	19.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,494,484	322,365	20.8
24年3月期	1,362,139	315,922	22.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 311,048百万円 24年3月期 306,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,300,000	△0.2	40,000	△30.4	50,000	△21.4	30,000	28.6	17.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

（注）詳細は、添付資料P. 4「2.（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 4「2.（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 有
 ④ 修正再表示： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2.（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期3Q	1,671,892,659株	24年3月期	1,671,892,659株
25年3月期3Q	93,582株	24年3月期	77,126株
25年3月期3Q	1,671,806,157株	24年3月期3Q	1,671,347,871株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想と異なる結果となることがあります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1.（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成25年1月31日（木）に、カンファレンス・コール（電話会議）による機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算説明資料につきましては、決算発表と同時にT D n e t及び当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
(1) （要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(2) 受注及び販売の状況	10
(3) 地域別売上高	11
(4) 平成25年3月期 連結業績見直し補足資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

世界経済は全体としては緩やかな成長基調が続くと想定されますが、米国における財政問題、依然として厳しい雇用環境、欧州における債務国問題等の不安定要素を抱えており、先進国経済の回復の足取りは緩慢なものに留まりました。加えて、中国の経済成長率が当初見通しを下回る等、これまで世界経済を牽引してきた新興国経済も減速傾向で推移しました。

また、国内経済は、東日本大震災の復興需要が本格化しつつあるものの、世界経済の下振れに伴う輸出企業の減速リスクを抱え不安定な状況が継続しました。足元では、新政権下でのデフレ脱却と持続的な経済成長実現のための財政・金融政策や円高修正の動きなどが見られますが、実体経済への反映にはなお時間を要すると考えられます。

このような経営環境の中で、当第3四半期における当社グループの受注高は、車両事業や航空宇宙事業などでの増加が精密機械事業などにおける減少をカバーし、全体では増加となりました。一方、売上高および営業損益面においては、売上では航空宇宙事業などが増収となりましたが、中国経済の減速の影響による精密機械事業の減収や、船舶海洋事業における減収などが大きく、全体では減収となりました。損益面でも、増収となった航空宇宙事業などが増益となったものの、精密機械事業や車両事業などの減益によって、全体では減益となりました。

この結果、当社グループの連結受注高は前年同期比203億円増の8,024億円、連結売上高は前年同期比204億円減収の8,858億円、営業利益は前年同期比243億円減益の229億円、経常利益は前年同期比266億円減益の314億円、四半期純利益は前年同期比143億円減益の193億円となりました。

当第3四半期連結累計期間の連結セグメント別業績の概要は以下のとおりです。

(単位 億円)

報告セグメント	前第3四半期 連結累計期間 (23年12月期)		当第3四半期 連結累計期間 (24年12月期)		(参考) 受注高	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	前第3四半期	当第3四半期
					連結累計期間 (23年12月期)	連結累計期間 (24年12月期)
船舶海洋	871	41	686	44	369	429
車両	946	49	941	△5	499	931
航空宇宙	1,385	59	1,658	93	1,141	1,383
ガスタービン・機械	1,370	80	1,446	46	1,233	1,316
プラント・環境	787	88	711	37	840	694
モーターサイクル & エンジン	1,542	△45	1,588	△20	1,542	1,588
精密機械	1,290	207	938	48	1,311	784
その他	867	33	887	15	882	895
調整額	—	△40	—	△29	—	—
合計	9,063	472	8,858	229	7,821	8,024

(注) 売上高は、外部顧客に対する売上高。

船舶海洋事業

連結受注高は、LNG運搬船など4隻を受注し、前年同期から60億円増の429億円となりました。

連結売上高は、LNG船、LPG船といった液化ガス運搬船の建造量が増加した一方、ケーブルサイズのばら積み船などの建造量が減少し、前年同期に比べ184億円減収の686億円となりました。

営業利益は、売上高の減少があったものの、コスト削減や受注工事損失引当金の繰入が減少したことなどにより、前年同期比2億円増益の44億円となりました。

車両事業

連結受注高は、台湾向け高速鉄道車両やシンガポール向け地下鉄車両の受注などにより、前年同期に比べ432億円増の931億円となりました。

連結売上高は、海外向け売上が減少となったものの、JR各社向けの増加により国内向けの売上が増加したことなどにより、前年同期並みの941億円となりました。

営業損益は、海外プロジェクトに係る受注工事損失引当金の繰入などにより前年同期比54億円悪化し、5億円の営業損失となりました。

航空宇宙事業

連結受注高は、防衛省向けやボーイング社向け777・787航空機分担製造品の受注が増加したことなどにより、前年同期比242億円増の1,383億円となりました。

連結売上高は、C-2輸送機等の防衛省向けが増加したことに加えて、ボーイング社向け777・787航空機分担製造品が増加したことなどにより、前年同期比272億円増の1,658億円と大幅な増収となりました。

営業利益は、売上の増加やコスト削減などにより、前年同期から34億円増益の93億円となりました。

ガスタービン・機械事業

連結受注高は、航空機用エンジン分担製造品などの増加により、83億円増の1,316億円となりました。

連結売上高は、陸用タービン設備などが減少したものの、産業用ガスタービンやガスエンジンなどの増加により、前年同期比75億円増収の1,446億円となりました。

営業利益は、研究開発費の増加などにより前年同期比33億円減益の46億円となりました。

プラント・環境事業

連結受注高は、イクシスLNGプロジェクト向け低温タンクなどを受注したものの、国内のLNG貯槽案件やごみ焼却プラントの減少などにより、前年同期比145億円減の694億円となりました。

連結売上高は、LNG貯槽案件が引き続き高水準で推移するとともに、搬送設備・ごみ焼却プラントなどで増加したものの、海外向け大型案件が減少したことにより、前年同期から76億円減収の711億円となりました。

営業利益は、売上の減少および利益率の低下により、前年同期比51億円減益の37億円となりました。

モーターサイクル&エンジン事業

連結売上高は、欧州向け二輪車販売が減少する一方、米国向けやインドネシアを中心とする新興国向け二輪車の増加などにより、前年同期比45億円増収の1,588億円となりました。

営業損益は、売上の増加および収益性の向上等により前年同期比25億円改善し、20億円の営業損失となりました。

精密機械事業

連結受注高は、中国向けを中心とする新興国建機市場向け油圧機器の減少などにより、前年同期比527億円減の784億円と大幅に減少しました。

連結売上高は、中国向けを中心とする新興国建機市場向け油圧機器の減少などにより、前年同期比352億円減収の938億円となりました。

営業利益は、売上の減少に加え、過年度の設備投資などに伴う固定費の増加などにより、前年同期比159億円減の48億円と大幅な減益となりました。

その他事業

連結売上高は、前年同期比20億円増収の887億円となりました。

営業利益は、前年同期比18億円減益の15億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、売上の計上に伴う売掛債権の増加、手持ち工事の進捗に伴う棚卸資産の増加や設備投資による有形固定資産の増加、大連中遠川崎船舶工程有限公司への出資などにより、前期末比1,323億円増の1兆4,944億円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少があった一方、コマーシャルペーパーや短期借入金、社債などが増加したことにより前期末比1,259億円増の1兆1,721億円となりました。有利子負債は前期末比1,800億円増の5,871億円となりました。純資産は、配当金の支払や四半期純利益の計上等により前期末比64億円増の3,223億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く経営環境は、先進国経済の回復の足取りは緩慢なものに留まる一方、中国をはじめとする新興国経済も減速傾向にあり、先行きの不透明感が継続しています。また、足元では過度の円高傾向に修正の兆しが表れつつありますが、実体経済への反映にはなお時間を要すると考えられます。

当年度の業績見通しにつきましては、連結売上高は前回公表値と同じ1兆3,000億円となる見通しです。連結営業利益は、精密機械事業において新興国建機市場向け油圧機器や半導体製造装置向けロボットの需要低迷が継続している影響がある一方、前提となる為替レートを見直したことで改善が見込まれること等により、前回公表値から40億円増の400億円となる見通しです。連結経常利益ならびに連結純利益については、これまで進めてきた為替予約により為替レート見直しの効果が限定的であるため、それぞれ前回公表値と同じ500億円、300億円となる見通しです。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1ドル=85円、1ユーロ=110円を前提としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算している。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示している。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更している。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ768百万円増加している。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,316	30,839
受取手形及び売掛金	404,054	427,642
商品及び製品	53,558	74,922
仕掛品	300,224	344,640
原材料及び貯蔵品	88,113	89,094
その他	90,174	90,710
貸倒引当金	△3,255	△3,329
流動資産合計	967,186	1,054,521
固定資産		
有形固定資産	274,750	296,365
無形固定資産		
のれん	300	65
その他	18,485	19,335
無形固定資産合計	18,786	19,400
投資その他の資産		
その他	102,356	125,368
貸倒引当金	△940	△1,171
投資その他の資産合計	101,416	124,196
固定資産合計	394,953	439,962
資産合計	1,362,139	1,494,484
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	310,775	263,547
短期借入金	137,568	227,409
未払法人税等	4,627	3,511
賞与引当金	20,582	9,818
受注工事損失引当金	30,977	19,626
その他の引当金	7,128	5,671
前受金	99,050	102,834
その他	85,291	208,238
流動負債合計	696,002	840,659
固定負債		
社債	60,000	70,000
長期借入金	198,737	169,917
退職給付引当金	75,052	72,613
その他の引当金	4,192	4,737
その他	12,232	14,189
固定負債合計	350,214	331,459
負債合計	1,046,216	1,172,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	104,484	104,484
資本剰余金	54,393	54,393
利益剰余金	176,414	187,008
自己株式	△22	△25
株主資本合計	335,270	345,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,989	3,416
繰延ヘッジ損益	246	△5,999
為替換算調整勘定	△33,451	△32,229
その他の包括利益累計額合計	△29,215	△34,811
少数株主持分	9,868	11,316
純資産合計	315,922	322,365
負債純資産合計	1,362,139	1,494,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	906,314	885,896
売上原価	749,211	748,339
売上総利益	157,102	137,557
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	30,039	31,333
研究開発費	25,222	27,258
貸倒引当金繰入額	95	260
その他	54,461	55,784
販売費及び一般管理費合計	109,819	114,637
営業利益	47,282	22,920
営業外収益		
受取利息	1,172	1,335
受取配当金	641	592
持分法による投資利益	7,100	7,082
為替差益	2,723	1,724
その他	6,046	4,141
営業外収益合計	17,684	14,877
営業外費用		
支払利息	3,237	3,130
有価証券評価損	12	20
その他	3,606	3,199
営業外費用合計	6,856	6,351
経常利益	58,111	31,446
特別損失		
環境対策引当金繰入額	—	1,395
減損損失	924	212
特別損失合計	924	1,608
税金等調整前四半期純利益	57,186	29,837
法人税等	21,442	8,694
少数株主損益調整前四半期純利益	35,744	21,143
少数株主利益	2,065	1,800
四半期純利益	33,679	19,343

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	35,744	21,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,349	△585
繰延ヘッジ損益	△241	△6,226
為替換算調整勘定	△6,270	2,476
持分法適用会社に対する持分相当額	△352	△1,167
その他の包括利益合計	△8,213	△5,503
四半期包括利益	27,531	15,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,872	13,746
少数株主に係る四半期包括利益	1,658	1,893

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	船舶海洋 事業	車両事業	航空宇宙 事業	ガスター ビン・ 機械事業	プラント ・環境 事業	モーター サイクル &エンジ ン事業	精密機械 事業	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高											
(1) 外部顧客への 売上高	87,113	94,651	138,586	137,070	78,773	154,277	129,097	86,743	906,314	—	906,314
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,047	1,641	1,433	14,427	8,312	765	9,497	24,973	62,098	△62,098	—
計	88,161	96,292	140,019	151,498	87,086	155,043	138,594	111,716	968,412	△62,098	906,314
セグメント利益 又は損失 (△)	4,132	4,905	5,905	8,034	8,837	△4,581	20,789	3,349	51,373	△4,090	47,282

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(単位：百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	△89
全社費用 (注)	△4,000
合計	△4,090

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	船舶海洋 事業	車両事業	航空宇宙 事業	ガスター ビン・ 機械事業	プラント ・環境 事業	モーター サイクル &エンジ ン事業	精密機械 事業	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高											
(1) 外部顧客への 売上高	68,629	94,181	165,848	144,667	71,132	158,855	93,830	88,750	885,896	—	885,896
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,446	2,467	1,656	12,227	11,460	512	9,381	23,536	62,688	△62,688	—
計	70,075	96,649	167,504	156,894	82,592	159,368	103,212	112,287	948,584	△62,688	885,896
セグメント利益 又は損失 (△)	4,417	△585	9,346	4,655	3,712	△2,018	4,851	1,500	25,879	△2,959	22,920

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(単位：百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	809
全社費用(注)	△3,768
合計	△2,959

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,113	△104,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,417	△66,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	61,232	168,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,301	29,587

(2) 受注及び販売の状況

<受注高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前第3四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	36,911	4.7	42,982	5.3	39,909	3.0
車両	49,937	6.3	93,149	11.6	66,099	5.0
航空宇宙	114,110	14.5	138,359	17.2	327,233	24.9
ガスタービン・機械	123,344	15.7	131,670	16.4	227,281	17.3
プラント・環境	84,069	10.7	69,481	8.6	119,284	9.0
モーターサイクル&エンジン	154,277	19.7	158,855	19.7	235,243	17.9
精密機械	131,185	16.7	78,403	9.7	174,587	13.3
その他	88,270	11.2	89,530	11.1	122,239	9.3
合計	782,106	100.0	802,433	100.0	1,311,878	100.0

(注) モーターサイクル&エンジン事業については、主として見込み生産を行っていることから、受注高について売上高と同額として表示している。

<売上高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前第3四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	87,113	9.6	68,629	7.7	113,532	8.7
車両	94,651	10.4	94,181	10.6	132,684	10.1
航空宇宙	138,586	15.2	165,848	18.7	206,580	15.8
ガスタービン・機械	137,070	15.1	144,667	16.3	194,655	14.9
プラント・環境	78,773	8.6	71,132	8.0	122,800	9.4
モーターサイクル&エンジン	154,277	17.0	158,855	17.9	235,243	18.0
精密機械	129,097	14.2	93,830	10.5	175,077	13.4
その他	86,743	9.5	88,750	10.0	123,205	9.4
合 計	906,314	100.0	885,896	100.0	1,303,778	100.0

<受注残高>

(単位：百万円、%)

報告セグメント	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成24年12月31日)		前第3四半期 連結会計期間末 (平成23年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	102,870	6.8	77,657	5.4	124,552	9.3
車両	345,170	23.1	348,644	24.4	353,272	26.5
航空宇宙	386,376	25.8	359,572	25.2	240,560	18.0
ガスタービン・機械	409,819	27.4	411,817	28.9	350,921	26.3
プラント・環境	181,698	12.1	172,076	12.0	190,502	14.2
モーターサイクル&エンジン	—	—	—	—	—	—
精密機械	42,300	2.8	26,873	1.8	44,878	3.3
その他	25,879	1.7	26,641	1.8	28,371	2.1
合 計	1,494,116	100.0	1,423,283	100.0	1,333,058	100.0

(3) 地域別売上高

前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
385,211	152,505	89,937	179,109	99,550	906,314
42.5%	16.8%	9.9%	19.7%	10.9%	100.0%

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
438,227	177,244	61,025	137,881	71,517	885,896
49.4%	20.0%	6.8%	15.5%	8.0%	100.0%

(4) 平成25年3月期 連結業績見通し補足資料

1. 全社見通し

(単位 億円)

	平成25年3月期見通し			24年3月期実績
	今回	10月31日見通し	増減	
売上高	13,000	13,000	—	13,037
営業利益	400	360	40	574
経常利益	500	500	—	636
当期純利益	300	300	—	233
受注高	13,300	13,500	△200	13,118
ROIC(税引前)	7.3%	7.3%	—%	7.4%

(注) ・平成25年3月期見通し前提為替レート：85円/USD、110円/EUR

・ROIC(税引前) = (税引前利益 + 支払利息) ÷ 投下資本

2. 報告セグメント別見通し

(a) 売上損益

(単位 億円)

報告セグメント	平成25年3月期見通し						24年3月期実績	
	今回		10月31日見通し		増減		売上高	営業損益
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益		
船舶海洋	800	30	800	△20	—	50	1,135	39
車両	1,300	20	1,300	20	—	—	1,326	51
航空宇宙	2,500	120	2,500	90	—	30	2,065	78
ガスタービン・機械	2,100	80	2,100	80	—	—	1,946	77
プラント・環境	1,300	110	1,300	110	—	—	1,228	141
モーターサイクル&エンジン	2,500	20	2,500	20	—	—	2,352	△29
精密機械	1,300	80	1,300	120	—	△40	1,750	266
その他	1,200	30	1,200	30	—	—	1,232	38
調整額		△90		△90		—		△88
合計	13,000	400	13,000	360	—	40	13,037	574

(b) 受注高

(単位 億円)

報告セグメント	平成25年3月期見通し			24年3月期実績
	今回	10月31日見通し	増減	
船舶海洋	1,100	1,100	—	399
車両	1,400	1,400	—	660
航空宇宙	2,200	2,200	—	3,272
ガスタービン・機械	2,400	2,400	—	2,272
プラント・環境	1,300	1,300	—	1,192
モーターサイクル&エンジン	2,500	2,500	—	2,352
精密機械	1,100	1,300	△200	1,745
その他	1,300	1,300	—	1,222
合計	13,300	13,500	△200	13,118